

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3141707号  
(U3141707)

(45) 発行日 平成20年5月22日 (2008. 5. 22)

(24) 登録日 平成20年4月23日 (2008. 4. 23)

(51) Int.Cl.

B 3 2 B 5/24 (2006.01)

F 1

B 3 2 B 5/24

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2008-1168 (U2008-1168)  
(22) 出願日 平成20年2月29日 (2008. 2. 29)(73) 実用新案権者 501024336  
清水惣株式会社  
滋賀県神崎郡能登川町字垣見 7 3 2 番地  
(74) 代理人 100074273  
弁理士 藤本 英夫  
(72) 考案者 清水 宏一  
大阪府大阪市中央区南新町 1 丁目 1 番 5 号

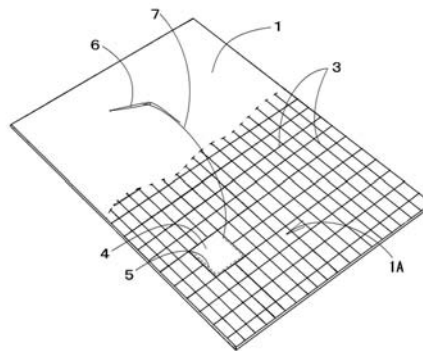
(54) 【考案の名称】 シート状綿材

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】製作が簡単で、廉価に提供でき、作業中には簡単に升目が消えてなくなることのない、キルティング加工やパッチワークなどに用いられるシート状綿材を提供する。

【解決手段】カーディング機で製綿されたり、ニードルパンチで処理されて得られた綿を所定の厚さにしてシート状の綿材 1 とし、このシート状綿材 1 の表面若しくは裏面または表裏両面に水可溶性のインクによって升目 3 を印刷してある。この升目 3 に沿ってキルティング加工したり、端切れ 4 をステッチ 5 したりする。

【選択図】 図 3



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

表面若しくは裏面または表裏両面に図柄が印刷されてなるシート状綿材。

**【請求項 2】**

図柄は格子状である請求項 1 記載のシート状綿材。

**【請求項 3】**

印刷に用いられるインクは水可溶性である請求項 1 又は 2 のいずれかに記載のシート状綿材。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】**

10

**【0001】**

この考案は、例えばキルティング加工やパッチワークなどに便利に用いられるシート状綿材に関する。

**【背景技術】****【0002】**

従来のキルティング加工やパッチワークなどをするには、シート状綿材のキルティング加工やパッチワークをする箇所の表面に、例えばチャコを用いて手作業により下図（模様）を描き、この下図を目印にし、針を刺し込むといった作業をしている。

**【0003】**

しかし、この手法はチャコの下図が作業の途中で消えたり、大きな面積のシート状綿材に対しては図柄が歪になったりして好ましくなかった。

20

**【0004】**

そこでこの問題を解決する手立てとして、フィルムに針を用いて微小な孔を空けて下図を点状パターンにして写し取り、この点状パターンフィルムを生地の上に載せ、チャコ液体を染み込ませた塗布具により、フィルムの各点状パターンをなぞることによって、生地に下図を印刷するようにした提案がなされている。

**【特許文献 1】特開平 2000 - 33030****【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

30

しかしながら、従来のこの提案では、フィルムに針を用いて微小な孔を空けることによって、下図を点状パターンにして写し取るという、大変面倒で時間のかかる作業が必要になる。また基本的にはチャコが採用されるために、作業中に図柄が剥離したりし、また得られた生地を市販するにしても、大変高価なものになってしまう問題もあった。

**【0006】**

そこで、本考案者は、かかる現状を踏まえて、製作が簡単で、廉価に提供でき、作業中には簡単に下図が消えてなくなる技術の改良を鋭意模索した結果、ほぼ満足の行く手立てを開発したので、ここに提案する。

**【0007】**

したがって、本考案は、製作が簡単で、廉価に提供でき、作業中には簡単に下図が消えてなくなることはないキルティング加工やパッチワークなどに便利に用いられるシート状綿材を提供することを課題とする。

40

**【課題を解決するための手段】****【0008】**

以上の技術的な課題を解決するために、この考案の請求項 1 記載のシート状綿材は、表面若しくは裏面または表裏両面に図柄が印刷されたものである。

**【0009】**

以上の構成によるシート状綿材においては、あらかじめ印刷によって、升目などの下図がシート状綿材に描かれているために、この下図にしたがってキルティング加工や端切れなどを縫い込んでゆくことができる。下図はあらかじめ印刷によってシート状綿材に描か

50

れるため、作業の途中で消えることがない。

【考案の効果】

【0010】

したがって、この考案に係る請求項1記載のシート状綿材は以下の効果を奏する。

キルティング加工やパッチワークのための下図があらかじめシート状綿材に印刷されているので、従来のチャコで下図を描いたり、点状パターンをフィルムに作成するものなどと違って、まず第一にシート状綿材に対する下図の製作がすこぶる簡単で、しかも廉価に行え、結果としてシート状綿材を廉価に提供できる。併せて、キルティング加工やパッチワークなどの作業の途中で下図が消えてなくなったり剥離したりするおそれもなく、最後まで的確で、しかも歪みなどのない美しい作業が可能になる。

10

【0011】

以上の構成において、請求項2記載のように、図柄は格子状であるのが望ましい。

平均的にどのような図柄にもうまく適用でき、大変使い勝手が良いからである。

【0012】

更に、請求項3記載のように、印刷に用いられるインクは水可溶性であるのが望ましい。

水洗いすることで簡単に下図のインクを洗い流すことができ、完成品からは下図の痕跡がなくなり、商品価値を高めることができるからである。

【考案を実施するための最良の形態】

【0013】

以下、この考案に係るシート状綿材の実施の形態を図1～4の記載に基づいて説明する。

20

【0014】

シート状綿材1は、綿100%のものを採用する。そして、このシート状綿材1は原綿をカーディング機で製綿した後の綿を、所定の厚みのシート状にしたものが採用される。また、別の手段として、ニードルパンチで処理されたものなども採用できる。厚み寸法は、パッチワークやキルティング加工などの適用される作業、更には適用される製品によって種々選択されるもので、薄いもので2mm程度、厚いものでは80mm程度で、その範囲内で適宜に選択される。

【0015】

このようにして得たシート状綿材1の表面に、図1、2に示すように、一般インキ用ローラを使い、凸版印刷法で、インク2としては水可溶性のある例えばADSカラー（商標名：久保井インキ社製、三和技研社製）を用いて、升目3を印刷する。インク2を乾燥させると升目3が印刷されたシート状綿材1Aが得られる。なお、図1は、便宜上、インクの印刷跡とを一部省略して表示してある。

30

【0016】

シート状綿材1に印刷される下図は升目3に限らず、格子状や縞模様であったり、種々のものが採用できるが、適用の汎用性から考えると格子状が望ましい。この下図の表現は、図に示すような実線その他、点線、鎖線など各種のものが採用される。また、必要に応じて、線幅も大小種々の太さのものが採用される。

40

【0017】

また、升目3を印刷する面は、表面であっても裏面であっても良く、更には必要に応じて表裏両面であっても良い。

【0018】

更にインク2は、水可溶性のものを採用したが、必ずしも水可溶性のものにこだわることはなく、一般のインクも採用できる。

【0019】

このように構成されたシート状綿材1は、図3に示すように、パッチワークをする際には、この升目3に沿って端切れ4をあてがい、辺縁をステッチ5する。このステッチ5の際も、前記升目3が針6を進める方向や位置の目印として機能するので、的確で美しい作

50

業が可能になる。

【 0 0 2 0 】

また、ステッチ加工 7 をする際も、図 4 に示すように、この升目 3 が針 6 を進める方向や位置の目印として機能するので、的確で美しい作業が可能になる。

【 0 0 2 1 】

このように、本考案に係るシート状綿材は、下図となる升目 3 があらかじめシート状綿材 1 に印刷されているので、従来のチャコで下図を描いたり、点状パターンをフィルムに作成するものなど違って、まず第一にシート状綿材 1 に対する升目 3 の製作がすこぶる簡単で、しかも廉価に行え、結果としてシート状綿材 1 を廉価に提供できる。併せて、キルティング加工やパッチワークなどの作業の途中で升目 3 が消えてなくなったり剥離したりするおそれもなく、最後まで的確でしかも歪みなどのない美しい作業が可能になる。

10

【 0 0 2 2 】

しかも、升目 3 であるから、平均的にどのような図柄にもうまく適用でき、大変使い勝手が良い。

【 0 0 2 3 】

更に、インクとしては水可溶性のものを採用すると、水洗いすることで簡単に升目 3 を描いていたインクを洗い流すことができ、完成品からは升目 3 の痕跡がなくなり、商品価値を高めることができる。

【 0 0 2 4 】

以上の実施の形態にあって、シート状綿材 1 は天然繊維に限らず、合成繊維も採用できることは言うまでもない。

20

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 2 5 】

【 図 1 】この考案に係るシート状綿材を表面側から見た印刷跡を一部省略して表した外観図である。

【 図 2 】要部の拡大断面図である。

【 図 3 】作用の説明斜視図である。

【 図 4 】別の作用の説明斜視図である

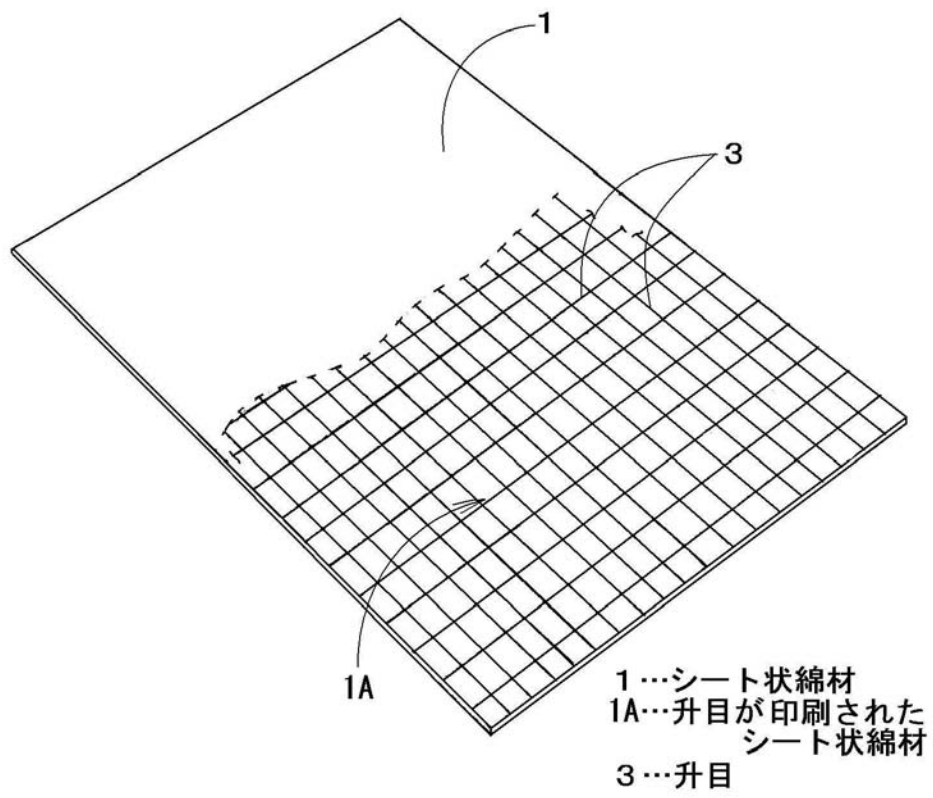
【 符号の説明 】

【 0 0 2 6 】

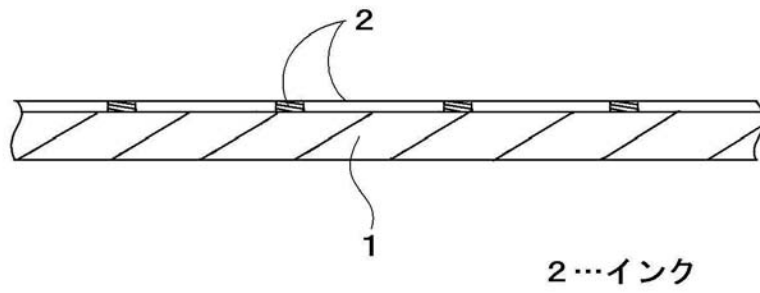
30

- 1 ... シート状綿材
- 1 A ... 升目が印刷されたシート状綿材
- 2 ... インク
- 3 ... 升目
- 4 ... 端切れ
- 5 ... ステッチ
- 6 ... 針
- 7 ... 糸
- 8 ... ステッチ加工

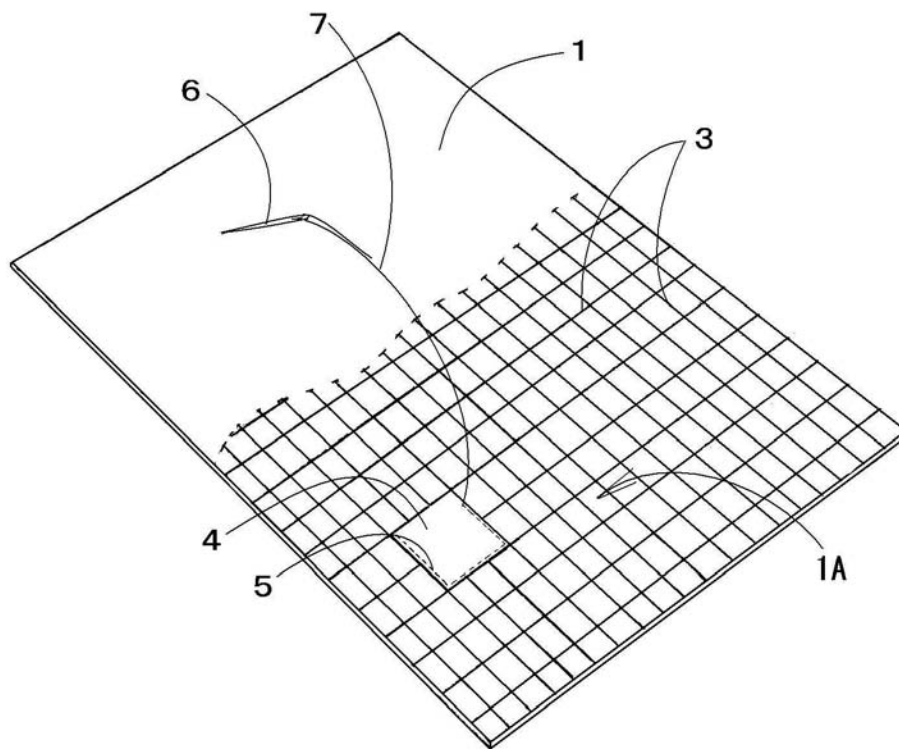
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

